

山家悠紀夫『日本経済 30 年史 バブルからアベノミクスまで』岩波書店 2019 年

第 2 章 バブルの発生から、膨張、破裂まで（1985～90 年）

用語調査

東証株価指数 P30L1

東京証券取引所が発表する株価指数。日経平均株価と並ぶ日本の代表的な株価指標。略称は TOPIX（トピックス）（コトバンク）

ブラックマンデー P30L4

1987 年 10 月 19 日月曜日に起こったニューヨーク株式市場の株価大暴落のこと。「暗黒の月曜日」と呼ばれる（コトバンク）

* 1929 年 10 月 24 日の株価暴落を Black Thursday という

内需拡大策 P38L1

公共投資の拡大、個人消費拡大のための所得税減税、また投資減税といった財政政策や金利引き下げといった金融政策が合わさって行われることが多い（コトバンク）

* 内需とは、国内需要。反対語は外需＝国外需要または輸出（需要）

* 最近の Go To トラベルなど

FRB（連邦準備制度理事会）P41L1

米国の連邦準備制度において、全国 12 の連邦準備区に 1 つずつ設けられており、FRB の統括のもと、紙幣の発行などを行う（コトバンク）

* 米国には、日本銀行 BOJ、イギリスの BOE のような「中央銀行」がない

親密取引銀行（メインバンク）P47L3

融資シェアがトップで、長年にわたり親密な取引があるなど、その企業と特に密接な関係をもつ銀行。資金の供給のみならず、金融や企業経営に関するアドバイスを提供し、役員を派遣している場合も多い（コトバンク）